



8両セット

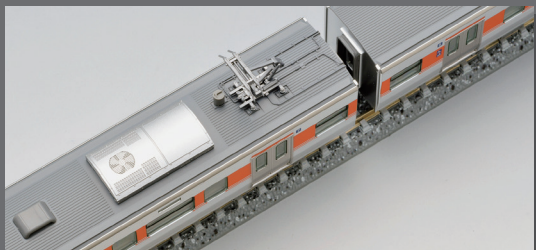


●モデルは特徴的な先頭車前面やスカートを再現、ヘッド・テールライト、前面表示の点灯には白色LEDを使用し、カラープリズムによってテールライトは赤色で点灯します。この前面表示は印刷済みパーツによる選択式として、「普通 名古屋」を装着し、交換用に中央本線名古屋口の種別・行先や英語表示を揃えています。  
 (\*): また、両先頭車ともに運転台側は密閉形のタミーカプラーを取り付け、各車の連結面側はオプションのポディマウント式密閉形TNカプラー (SP) の取り付けに対応させ、屋根上の列車無線アンテナ、信号受信機は屋根と一体で再現しています。

(\*)「普通 多治見」「快速 名古屋」「快速 中津川」「Local Nagoya」「Local Tajimi」「Rapid Nagoya」「Rapid Nakatsugawa」



●側面ガラスは、実車の赤外線、紫外線をカットする遮熱・遮光ガラスを模して薄いグリーンとし、乗務員ドアと乗降用ドアは車体との材質の違いを再現するべく、色調の異なる銀色としています。また、各車の台車と、クハ314形車端部床下のトイレタンクは、新規に製作しています。なお、乗降用ドア脇の車椅子マークとベビーカーマーク、号車表示は印刷済みとし、付属の転写シートは車体番号 (C1・C3・C6編成) の他、ATS標記2種 (ST・Pr)、弱冷房車表示に加えて、前面窓に貼付する編成番号も含まれています。



●編成中、4両が組み込まれたモハ315形の屋根上に載るシングルアームパンタグラフは、313系で使用している上昇時、折り畳み時ともに形態に優れたパーツを用い、各車に2台搭載されるクーラーも新たに製作しています。なお、クーラー間の換気扇カバーとパンタグラフ横の避雷器は別パーツを取り付けています。

JR東海では安全性、安定性の向上を図るため、国鉄から継承した車両を置き換えるべく、在来線普通列車に使用する電車については、1998～2014年にかけて313系539両を新製投入し、なおも残る国鉄型車両の交換用に、315系通勤形電車を新たに開発、製造しています。同系は最新技術を導入し、さらなる安全性と安定性の向上に加えて、より優れた省エネ性能など環境負荷の低減も目指した車両となっています。同系のエクステリアデザインは「先進性×親近感」をコンセプトとし、最新技術の導入を表現するべく直線を用いた斬新な前面形状を採用しながらも、同社コーポレートカラーのオレンジとホワイトを調和させた配色として、親しみやすさも持たせています。また、インテリアデザインは、「優しく安心感のある快適な移動空間」をコンセプトとし、全車両に車椅子スペースを、全編成に車椅子対応トイレを設置するのと併せ、優先席床面の色分けや車椅子スペースの床面表示などのバリアフリー設備を充実させ、車内のセキュリティ強化として防犯カメラと非常通話装置を各車に設置しています。さらに「快適な移動空間」とするべく、冷房装置は能力向上に加え、AIによる自動学習・制御最適化機能を国内で初めて導入し、座席は一人あたりの幅を拡大した上、理想的な座り姿勢をサポートする形状としています。なお、車内は開放感を感じられるよう、天井は高くし、床面は視覚的効果を持たせたグラデーションカラーとしています。315系は2022年3月より中央本線名古屋～中津川間で運転を開始、2023年度中には特急を除く同区間の列車を同系に統一し、2025年度までに総数352両を新製の上、国鉄型車両を全て置き換える予定となっています。

トミックスではJR東海最新の通勤形電車315系を新たに製品化、同系を8両フルセットでリリースいたします。モデルはモーター車にM-13モーターを使用したフライホイール付き動力ユニットを搭載、その他の各車には新集電システムを採用し、安定した走行性能と集電性能を持たせています。なお、セットには各種標記を揃えた転写シート他、前面表示パーツ7種を付属しています。

# 315系 通勤電車

■ JR 315系通勤電車セット (8両)  
 <98820> 予価¥28,050 (税込)

JR東海承認済 **6月発売予定**